

「千と千尋の神隠し」における相槌の分析  
(社会言語学による考察)

ディタアプリナ  
0542015



マラナターキリスト教大学  
文学部日本語学科  
バンドン  
2009

## 序論

日本には、古くから人と人とが話している際に、相手の目を見ないという風習がある。例えば、その昔、目下のものが目上の人の目を見て話すことは、ご法度とされていた。また、日本人は人と話している際、話し手に対して聞き手は、短い言葉を発する。これが「相槌」である。

これは日本人の言語行動の1つとして挙げられる。これは、インドネシアにはない、日本人の特有の文化習慣である。このような言語行動を研究するには社会言語学アプローチが適切だと思われる。社会言語学というのは、

“社会階層、教育水準並びに、教育の種類、年齢、性別、人類などの社会的要因との関連で言語を研究する学問分野。” (Richards, 1985:pp342)

社会言語学における言語用法及び選択は聞き手と話し手の関係を通してみることができる。

論文で取り上げる問題としては次のようなものである：

1. 「千と千尋の神隠し」に「相槌」が使われるかどうか。
2. 「相槌」はどのような理由によって使われるか、ということである。

## 本論

日本語の会話においては聞き手が話し手の話しを聞いているのだという反応を表すことが重要である。その反応が会話をスムーズに運ばせる

ものである。その反応あるいは応答の形の一つとして「相槌」がある。

「相槌」は、聞き手が話しての話しに発する短い言葉である。

「相槌」とは何かと言うことを見してみる。

“「相槌」は、話し手が発話権を行使している間に、聞き手が話し手から送られた情報を共有したことを伝える表現。” (Horiguchi, 1997:pp42)

本論文では、「相槌の機能、形態及びイントネーション」を研究する。

次の例を見てみよう。

## 1. 機能

ハク：その人にここで働きたいって頼むんだ。ことわられてもねばるんだよ。ここでは仕事を持ってない者は湯バーバに動物にされてしまう。

千尋：湯バーバって。

ハク：会えばすぐにわかる。ここをしはいしているほじょだ。いやだとか帰りたいとか言わせるようにしむけてくるけど、働きたいってだけ言うんだ。つらくてもたえてきかいを待つんだよそうすれば湯バーバも手が出せない。

千尋：うん。

上記の対話における相槌は「うん」である。「うん」の機能は聞き手が話し手の言うことをわかることを表す。「うん」は「はい」のインフォーマルな形である。「うん」を使うことによって、話し手と聞き手の関係が親しい関係にあることを示しているのである。

## 2. 形態

ハク：この世界で生きのびるためにはそうするしかないんだ。ご両親をたすけるためにも。

千尋：やっぱり豚になったの。夢じゃないんだ。

ハク：ちっとして。さわぎがしずまったら、うちのくぐり戸から出られる。外のかいだんを一番下まで降りるんだ。そこにボーイ

ラー室の入り口がある火をたく所だ。中にカマジイという人がいるから、カマジイに会うんだ。

千尋：カマジイ。

上記の対話における相槌は「カマジイ」である。この言葉は繰り返し形である。話してと聞き手は若者なので、インフォーマルな言葉を使うことができる。

### 3. イントネーション

ハク：ハッ...ここへ来てはいけない。すぐ戻れ。

千尋：えっ。↑

ハク：じきに夜になる、その前に早く戻れ。もう明かりが入った。急いで。私が時間をかせぐ、川の向こうへ走れ。

千尋：なによあいつ。

上記の「えっ」という言葉は上がったイントネーションで発され聞き手の驚きを表している。もし、「え」を平板形に言う場合は同意の意味を表すのである。これもインフォーマルな表現である。

### 結論

「千と千尋の神隠し」における「相槌」の言語行動を分析した結果、以下のような結論を導くことが出来る。

1. 「相槌」は日本人の会話において重要な要素である。伝える「相槌」の意味は機能と形態とイントネーションに影響される。
2. 会話行為者の社会的地位、場所、状況、性別、年齢が「相槌」に影響を及ぼす。

## DAFTAR ISI

KATA PENGANTAR.....	ii
DAFTAR ISI.....	iv
BAB I PENDAHULUAN.....	1
1.1 LATAR BELAKANG MASALAH.....	1
1.2 RUMUSAN MASALAH.....	7
1.3 TUJUAN PENELITIAN.....	7
1.4 METODE DAN TEKNIK PENELITIAN.....	7
1.5 ORGANISASI PENULISAN.....	8
BAB II KAJIAN TEORI.....	9
2.1 SOSIOLINGUISTIK ( <i>Shakaigengogaku</i> 社会言語学).....	10
2.1.1 IDENTITAS SOSIAL PENUTUR DAN PETUTUR.....	16
2.1.2 LINGKUNGAN SOSIAL PERISTIWA TUTUR.....	17
2.2 DEFINISI <i>AIZUCHI</i> (相槌).....	18
2.2.1 FUNGSI <i>AIZUCHI</i> .....	19
2.2.2 BENTUK <i>AIZUCHI</i> .....	21
2.2.3 INTONASI <i>AIZUCHI</i> ..	22
BAB III ANALISIS <i>AIZUCHI</i> PADA FILM 千と千尋の神隠し.....	25
3.1 FUNGSI <i>AIZUCHI</i> .....	25
3.2 BENTUK <i>AIZUCHI</i> .....	34
3.3 INTONASI <i>AIZUCHI</i> .....	42
BAB IV KESIMPULAN.....	50

SINOPSIS

DAFTAR PUSTAKA

LAMPIRAN DATA

LAMPIRAN KLASIFIKASI DATA

RIWAYAT HIDUP